

ハンガー式ヤジロベエ工法

●工法紹介

ハンガー式ヤジロベエ工法とは、鋼矢板、鋼管矢板、コンクリート矢板等にプレキャストコンクリートパネルを取り付ける設置工法です。従来工法で見られる以下の問題を改善しました。

1. 高さ調整のため、取付が完了するまで吊った状態を維持する必要がある。
2. 隣接するパネルが不整列な場合、前後左右の調整作業が容易にできない。
3. 調整箇所が多く施工日数が必要である。



下記URLでハンガー式ヤジロベエ工法の紹介ビデオをご覧頂けます。
<https://www.youtube.com/watch?v=KgEaWFKlp58>



●特長

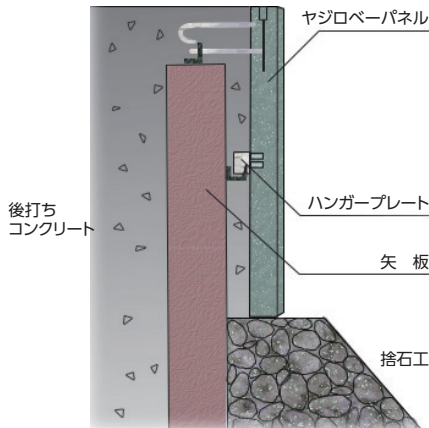
自立式護岸、自立式土留など壁面にプレキャストコンクリートパネルを用いる工事に使用できる工法です。港湾工事など施工の際に制約を受ける工事に適します。

1. ハンガープレートを取付けたヤジロベエパネルを、設置構造物の同位置に取り付けた溝型鋼等へ落とし込むことで、設置構造物との間隔とパネルの上下位置を確定します。
2. 溝型鋼等にハンガー（引っ掛ける）プレートを介してぶら下がっているため横方向へスライド（滑らせる）させることで、パネルの左右位置の調整が容易に出来ます。また、プレートを介してぶら下がっているためヤジロベエパネルの面通りや壁面勾配が容易に決定出来ます。
3. ヤジロベエパネルは、溝型鋼等にハンガープレートを介してぶら下げるため、クレーンの効率が高まり施工性が向上します。

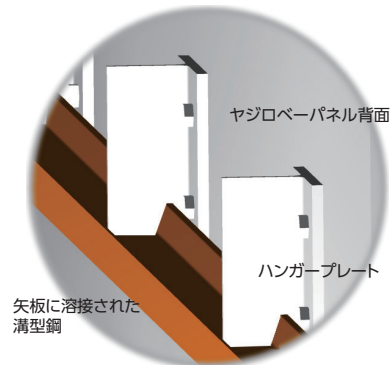
底無タイプ

構造図

■断面図

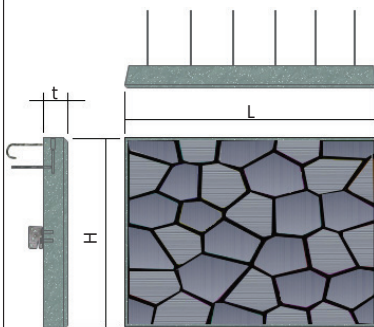


■ハンガー部構造斜視図

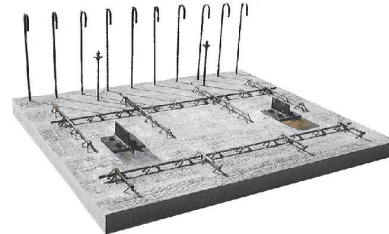


製品図

■ヤジロベエパネル形状図



■ハンガープレート 1810×1997×110



■ハンガープレート 製品埋込部とセット写真です。

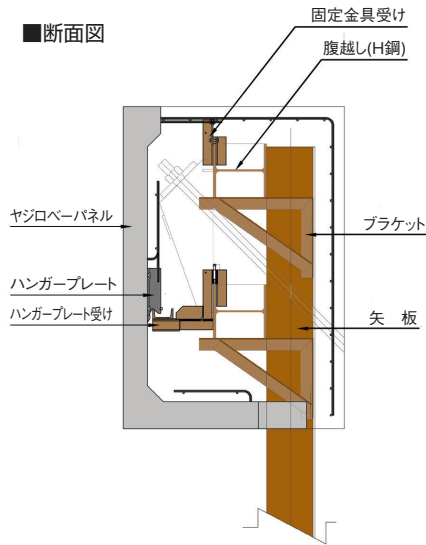


ハンガープレートは、ヤジロベエパネル重量によりサイズが変わりますのでご注意ください。
ヤジロベエパネルの寸法につきましては、ご相談下さい。

底有タイプ

構造図

■断面図

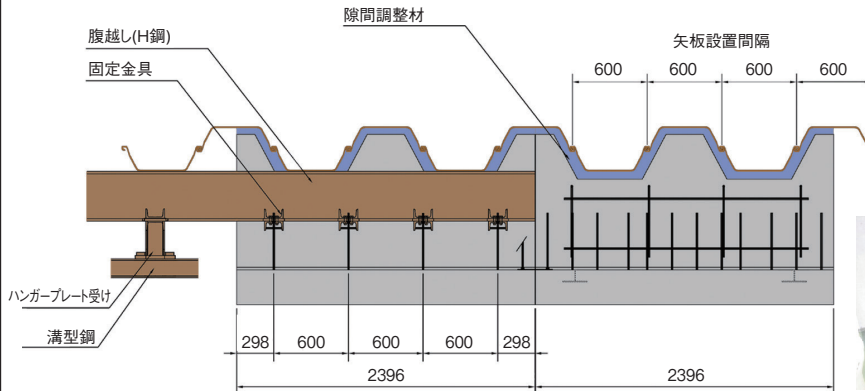


当構造図は、鋼矢板にブラケットを溶接し腹越しを上下2段に配置することで抑止力(アンカー)を鋼矢板全体に作用させる構造に対してハンガー式ヤジロペーパー工法を用いたものです。従って、固定金具やハンガープレート受けは現場によって異なります。鋼矢板の施工誤差を調整する必要があり、ハンガープレート受けで上下、前後の調整を行います。

■ハンガープレート受け

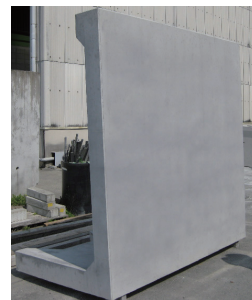
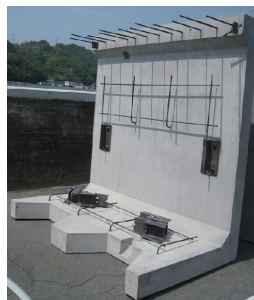
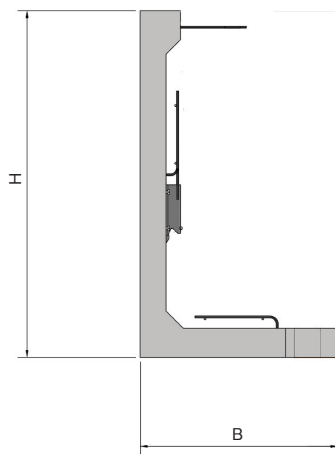


■平面図



製品図

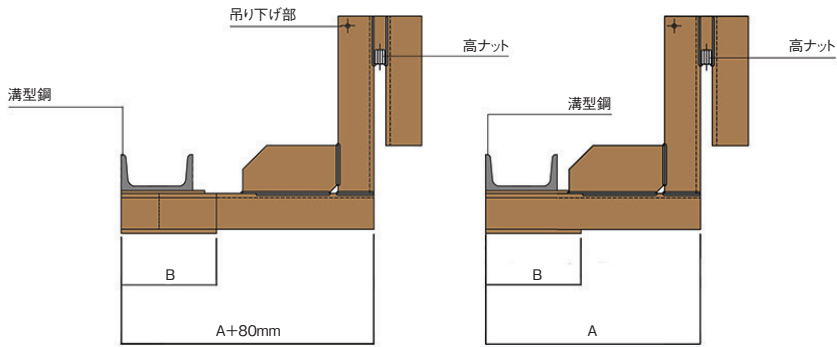
■ヤジロペーパーパネル形状図



写真の製品
H=2.4m
B=1.368/1.008
L=2.396m
W=3,948kg

- ・H寸法、B寸法はお問合せ下さい。
- ・壁面は滑面となります。
- ・鋼矢板のタイプによって底板部の凹凸形状の変更が可能です。
- ・製品長は、L=2.396mを標準とします。±4 cmの範囲で調整が可能です。

ハンガープレート受け



前後にスライドする範囲で調整を行います。事前に矢板の誤差のプラスマイナスを確認して頂く必要があります。スライドすることで、部材の耐荷重が低下しますので注意が必要です。上下方向は、側面に溶接してある高ナットに六角ボルトを用いて上下に調整します。各工程で確実に溶接を行って下さい。



ハンガープレート受け

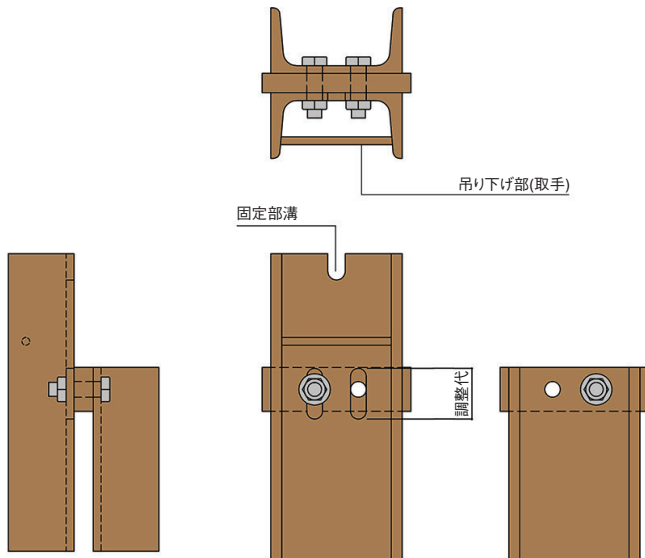
擁壁類

管渠類

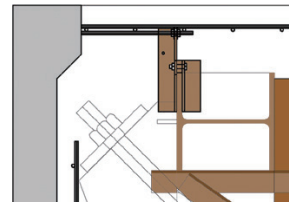
側溝類

道路関連

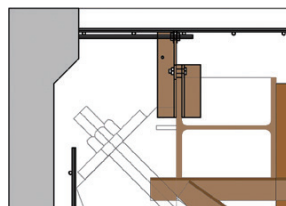
固定金具受け



■固定方法



■固定状況



■配筋時固定金具配置状況



前後の調整は、製品からのアンカー筋(先端ネジ切)で調整を行います。上下方向は、固定部溝のある鋼材を上下にスライドさせ六角ボルトを用いて固定することで調整します。

固定金具受け

景観関連

河川関連

その他